

PROFILE

デニス・ホー(何韻詩)

1977年香港生まれ。11才の時に家族とカナダへ移住。その後、アナ・ムイ(梅艷芳)に弟子入りし、2001年にレコードデビュー。香港ポップスの中核を担う歌手としてワールドワイドに音楽活動をするなか、映画や舞台など女優としても活躍。

2012年のLGBTパレードに参加した際に、舞台上で自ら同性愛者であることを表明。香港の女性芸能人で初のカミングアウトとなった。また、2014年「雨傘運動」に参加し、座り込みを続けたことで逮捕され、レコード会社との契約やスポンサー契約を打ち切られた。2019年には「逃亡犯条例」改正反対デモに参加している。現在は、PodcastやYouTubeで配信活動を行なっている。

STORY

2014年に香港で起きた「雨傘運動」。警官隊の催涙弾に対抗して雨傘を持った若者たちが街を占拠したこの運動に、一人のスターの姿があった。彼女の名前はデニス・ホー。彼女はこの運動でキャリアの岐路に立たされた。中心街を占拠した学生たちを支持したことで逮捕され、中国のブラックリストに入ったのである。スポンサーが次第に離れていき、公演を開催することが出来なくなった彼女は、自らのキャリアを再構築しようと、第二の故郷モンリオールへと向かうのであった。

スー・ウィリアムズ監督による長期密着取材によって浮かび上がるのは、香港ポップスのアイコンであった彼女が、香港市民の自由を守るために声を上げる一人のアーティスト／民主活動家へと変貌していく様である。この物語は、歪な関係にある香港と中国、過去30年の情勢を見事に反映している。

そして、2019年6月。香港で「逃亡犯条例」改正に反対するデモが起きた。数百万のデモ参加者が街頭に繰り出すなか、彼女は催涙ガスと放水砲が飛び交う通りに立ち続ける。自由を求める香港の人々の声が、デニス・ホーという存在に重なり、その願いが一つの歌となって響き渡る。映画の幕は閉じるが、香港の闘いはまだ終わっていない…

香港を代表するポップスター
熱狂と再生のドキュメンタリー

監督・脚本・制作：スー・ウィリアムズ 製作総指揮：ヘンク・ファン 共同制作：ジュディス・ヴェッキオーネ 共同制作：ノシャ・ペイラン
オリジナル音楽：デニス・ホー、エド・マニ、陳健賢、キム・モリス、周志輝、ユール・リンクス 字幕：西村美須寿 字幕監修：Miss D
協力：TOKYO FilmMakers 山崎三三 資料提供：山口洋子 配給：責任編集
【2020/アメリカドキュメンタリー /DCP/83分】 ©Aquarian Works, LLC deniseho_movie2021.com Twitter: @deniseho_movie



「激動香港 市民は何を目指したか」特集(2023/1/11木～22日 ※1/16休映) 内にて上映

料金：一般 1,800円/学生、高校生 1,500円/中学生以下、シニア、障害者手帳をお持ちの方 1,200円

12(木)、15(日)、18(水)、21(土) 13:00

※全席指定 各回定員入替制 立ち見不可 事前予約不可

恵比壽ガーデンプレイス内
東京都写真美術館ホール
www.topmuseum.jp TEL: 03(3280)0099

第21回
東京フィルメックス
特別招待作品

第44回フレームライン
サンフランシスコ
国際LGBTQ映画祭
正式出品

第31回
シンガポール国際映画祭
特別招待作品

DENISE HO BECOMING THE SONG

Director/Writer: Priscilla K. Coleman
Executive Producer: Helen Shiu, Co-Executive Producer: Judith Venetian
Co-Producer: Nisha Bhatia, Original Score: Chairho Song
Editor: Emma Morris, Director of Photography: Jeff Fung

デニス・ホー ビカミング・ザ・ソング

“香港に自由を”

監督・脚本・制作: スー・ウィリアムズ 製作総指揮: ヘレン・シウ 共同製作: ジュディス・ウエックオーネ 共同制作: ヌシャ・ベイラン
オリジナル音楽: チャールズ・ニューマン 編集: エマ・モリス 撮影: ジェリー・リシウス 字幕: 西村美須寿 字幕監修: Miss D
協力: TOKYO FILMeX, 市山尚三 資料監修: 江田洋子 配給・宣伝: 太秦
【2020/アメリカドキュメンタリー/DCP/83分】 © Aquarian Works, LLC

deniseho-movie2021.com



48849